



LINE QR コード



令和6年

7月

第472号

浄恩寺同朋会報

電話 052-881-8474

孟蘭盆会の季節

今年も一年の半分が過ぎ、お盆の季節になりました。桜、薔薇、菖蒲、紫陽花も終わり「蓮」が咲き始めました。



孟蘭盆会の合同法要申し込み、今年は八月十日十一日の土日の申込みが集中しており、以前と違い「お盆休暇」が無くなっている傾向のようです。

日本各地には、さまざまなお盆のかたちや風習があります。

「白無地の提灯を贈ろうか?」「中国地方がご実家のお父さんから連絡がありましたが必要ですか?」お尋ね



「迎え火」「送り火」「おしよる様(ご先祖様の乗り物)」など、さまざまな相談が寄せられます。「風習、しきたり、習慣・・・」それは、決して強要されるはならないと考えます。

必要性や意義を感じ、取り組むことによって、自分の心が晴れると思われらるなら、私はおすすめをいたします。送り火は、花火を上げたり、鑑賞することでもいいと思います。「精霊流し」も風情があります。

それぞれの盆の過ごし方があるっていいのではないのでしょうか? 悲しみを乗り越え、生きていくことに、心が喜びを感じられる時間を過ごさされることを願います。



やらのんびりの「水無月・・・水の月」

6月は、葬儀の件数もおさまりました。三重県名張市の遠方葬儀もゆっくり勤められました。自然に恵まれた盆地、鶯の音が響き、穏やかな気持ちになれる土地柄でした。おどろいたのは、かご盛、お菓子がいっぱい、初めてみました。四十九日間崩さずお供えするのだそうです。

朝5時半頃の鶴舞公園散歩を時々、ふくちゃんが行きました。菖蒲は、あつという間に散り、すぐに紫陽花の花が咲き始めました。



色、形、さまざま種類の紫陽花が咲いて、いまは、枯れると、ドライフラワーのようにになります。

紫陽花の小径は木陰で涼しく、気持ちの良い場所です。



そして、蓮の花。早朝、朝日が昇る頃が生きて、蓮の花として綺麗です。阿彌陀経には、「池中蓮華、青色青光、黄色黄光、赤色赤光、白色白光」の説があり、「貴方は、貴方らしく、他人と自分を見比べず生きる願いが語られています」



我が家のわんこ達は、まさに毎日、生活をエンジョイしているように見えますが、どうでしょう?



